

科目名 Course Name	教育方法・生徒指導概論 Introduction to Instructional Methods and Student Guidance						
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	松崎勇人						
連絡先(質問等)	本館2階研究室(湯沸かし室前)、火曜を除く昼休みや空き時間						
必修/選択	栄養教職必修						
関連 DP	DP2, DP4						
授業の概要と到達目標	以下の2つの領域の基礎・基本的知識とスキルを得る。 ① 教育方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識を言語化できるようにし、技能を使えるようにする。 ② 生徒指導の基本的考え方や知識を言語化できるようにし、スキルを使えるようにする。						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、個別ワークやグループワークも取り入れる。自作プリントを用いて教育方法や技術や、情報機器及び情報教材の活用について学び、生徒指導提要や生徒指導の実践例も取り上げて考えつつ学ぶ。グループワークでは仲間と積極的に関わりディスカッションし、課題については教師となるために必要なことなので、時間をかけて行うこと。						
学習成果	L01						
	L02	教師としてふさわしい価値観や態度を他者に示せる。2つの領域の基本的知識や技術を使える。					
	L03	指導案を作成して修正できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	課題は講義中や次の期に返却する。						
教科書/参考図書	教育方法について自作プリントを配布する。生徒指導提要(平成22年3月)文部科学省。中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)						
履修上の留意点やルール等	積極的に参加し、私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席しないこと。課題提出のメ切りは講義中に示す。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。栄養フィールド教職履修者のみ受講可。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品	最高水準としては、選択したテーマについて多面的に考えた上で、評価方法を含む指導計画を綿密に立てていること、オリジナルな発想があること等を評価基準とする。			60	
発表					
小テスト					
試験	基本的事項について述べられるか筆記試験で確認する。		40		
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、教育方法の基礎的理論と実践
	事前・事後学習	理論の長所と短所をまとめ表現する。
2	授業内容	現代的資質や能力育成のための教育方法（主体的・対話的で深い学び）
	事前・事後学習	新しい教育方法の特徴を表現する。
3	授業内容	授業を構成する要素
	事前・事後学習	伝統的な教授法を図式的に表現する。
4	授業内容	学習評価の基本
	事前・事後学習	学習評価の構造とサイクルを整理する。
5	授業内容	授業を行うための基礎的技術（話法や板書等）
	事前・事後学習	それらの技術の要点を整理する。
6	授業内容	学習指導案の作成、発問の作成
	事前・事後学習	【課題1】発問構造の作成
7	授業内容	情報機器を活用した教材等の作成と提示の考え方と実際
	事前・事後学習	【課題2】情報教材に関するアイデアの提出
8	授業内容	子供たちの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成するための指導法
	事前・事後学習	指導法を考える。
9	授業内容	生徒指導の意義と教育課程における位置づけ、様々な領域における生徒指導の意義
	事前・事後学習	生徒指導の機能を整理する。
10	授業内容	集団指導と個別指導の方法原理、生徒指導の体制と教育相談の体制
	事前・事後学習	指導の形態と体制を整理する。
11	授業内容	生徒全体に対する組織的取り組み、生活習慣や規範意識の育成へ向けた指導の在り方
	事前・事後学習	生活習慣の変化と道徳と生徒指導の関りを考える。
12	授業内容	自己の存在感の育成へ向けた場や機会のある在り方、個別の課題を抱える生徒への指導（生徒指導に関する法令）
	事前・事後学習	要点の整理。
13	授業内容	暴力・いじめへの対応
	事前・事後学習	構造的に整理する。
14	授業内容	不登校等への対応
	事前・事後学習	家族支援の在り方を考える。
15	授業内容	インターネット・性・児童虐待等への対応と専門家や関係機関との連携の在り方
	事前・事後学習	要点の整理。【課題3】生徒指導の計画の提出